

様式（C-26）繰越（翌債）を必要とする理由書 【記入例】

目 次

○ (①エ) 計画に関する諸条件 (計画の変更)-----	1
○ (①キ) 計画に関する諸条件 (新たな知見の発見) -----	2
(研究協力者の確保難) -----	2
(研究協力者の確保難) -----	3
(装置の開発遅延) -----	3
(機器の故障) -----	4
(その他 (研究協力者の事情)) -----	4
(その他 (研究協力機関の事情)) -----	5
(その他 (学会の事情)) -----	5
(その他 (学会の事情)) -----	6
(その他 (怪我・病気)) -----	6
(その他 (怪我・病気)) -----	7
○ (⑥ウ) 資材の入手難(マウス等実験動物の確保難)-----	7
(マウス等実験動物の確保難)-----	8
(資材及び資料の入手難) -----	8
○ (⑦ア) 研究に際しての事前調査-----	9
○ (⑦イ) 研究方式の決定の困難-----	9
○ (③ア) 気象の関係 -----	10
<参考>	
事由別一覧表 -----	11

繰越（翌債）を必要とする理由書

参考【記入例】
① エ 計画に関する諸条件
(計画の変更)

機関番号: 11111 研究機関名: ○○大学
 課題番号: 211111111 繰越(翌債)承認要求額: 1,300,000 円 (内訳:直接経費 1,000,000 円 ・間接経費 300,000 円)
 研究課題名: ○○の研究

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
<p style="text-align: center;"><当初計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○の樹立 (H21.4~H21.12) ○ ○○の交配と○○の検定 (H22.1~H22.3) ○ 研究成果とりまとめ (H22.3) 	<p style="text-align: center;"><変更後の計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○の樹立 (H21.4~H21.12) ○ ○○の作製方法の再検討及び作製 (H22.1~H22.2) ○ ○○の交配と○○の検定 (H22.3~H22.5) ○ 研究成果とりまとめ (H22.5) 	<p>(研究概要) ※2~3 行程度 平成21年12月までに○○の樹立として○○で○○を作製、平成22年1月より○○を有する○○の両者を交配し、○○を測定の上、検討する予定であった。</p>
		事 由 (注)
		記号等 ①エ 計画に関する諸条件 (計画の変更)
		(①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載) ※2~3 行程度 ※①エの場合は記入不要
繰越事由の発生した時期 平成22年1月	補助事業の完了時期 平成22年5月31日:2ヶ月延長	

参考【記入例】

①キ 計画に関する諸条件
(新たな知見の発見)

様式 C-26

繰越(翌債)を必要とする理由書

機関番号: 11111 研究機関名: ○○大学

課題番号: 211111111 繰越(翌債)承認要求額: 1,300,000 円 (内訳: 直接経費 1,000,000 円 ・間接経費 300,000 円)

研究課題名: ○○の研究

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
<p><当初計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○の移転モデル構築 (H21.4~H21.7) ○ ○○の治療実験 (H21.8~H21.11) ○ ○○細胞活性の評価 (H21.12~H22.3) ○ 研究成果とりまとめ (H22.3) 	<p><変更後の計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○の移転モデル構築 (H21.4~H21.7) ○ ○○の治療実験 (H21.8~H21.11) ○ ○○細胞と○○細胞活性の評価 (H21.12~H22.6) ○ ○○細胞活性の評価 (H22.7~H22.10) ○ 研究成果とりまとめ (H22.10) 	<p>(研究概要) ※2~3 行程度 平成21年11月までに人工○○による○○の治療実験を終え、平成22年3月までに人工○○の○○免疫能を○○細胞活性によって最終評価する予定であった。</p>
		事 由 (注)
		<p>記号等 ①キ 計画に関する諸条件 (新たな知見の発見)</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載) ※2~3 行程度 平成21年11月、○○の実験過程において、○○細胞には○○の性質がある可能性が判明したので、それを検証するために○○細胞活性の評価を行う必要が生じた。</p>
<p>繰越事由の発生した時期 平成21年12月</p>	<p>補助事業の完了時期 平成22年10月30日:7ヶ月延長</p>	

参考【記入例】
 ①キ 計画に関する諸条件
 (新たな知見の発見)

繰越(翌債)を必要とする理由書

機関番号: 11111 研究機関名: ○○大学
 課題番号: 211111111 繰越(翌債)承認要求額: 1,300,000 円 (内訳: 直接経費 1,000,000 円 ・間接経費 300,000 円)
 研究課題名: ○○の研究

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
<p style="text-align: center;"><当初計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○遺跡の調査・研究 (H21.4~H22.3) ○ ○○についてのシンポジウム (H21.11) ○ 研究成果とりまとめ (H22.2) 	<p style="text-align: center;"><変更後の計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○遺跡の調査・研究 (H21.4~H22.3) ○ ○○についてのシンポジウム (H21.11) ○ 新出史料の調査・研究 (H21.11~H22.7) ○ 研究成果とりまとめ (H22.8) 	<p>(研究概要) ※2~3 行程度 平成21年4月から平成22年3月まで、○○地方の○○都市に関する基礎資料の包括的な把握を重要な柱とし、この地方の城下町と○○の関係と、○○時代の○○に関する史料調査・研究を実施する予定であった。</p>
		事 由 (注)
		記号等 ①キ 計画に関する諸条件 (新たな知見の発見)
		----- (①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載) ※2~3 行程度 平成21年11月、○○遺跡において○○大学の調査グループにより新史料が相次いで発見された。この発見は、本研究目的の○○に深く関係するものであるため、新出史料の調査・研究を行う必要が生じた。
繰越事由の発生した時期 平成21年11月	補助事業の完了時期 平成22年8月31日:5ヶ月延長	

参考【記入例】
 ①キ 計画に関する諸条件
 (研究協力者の確保難)

繰越(翌債)を必要とする理由書

機関番号: 11111 研究機関名: ○○大学
 課題番号: 211111111 繰越(翌債)承認要求額: 1,300,000 円 (内訳:直接経費 1,000,000 円 ・間接経費 300,000 円)
 研究課題名: ○○の研究

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
<p style="text-align: center;">＜当初計画＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○のデザイン・作製 (H21.4～H21.9) ○ ○○及び○○による有効性の確認 (H21.10～H22.3) ○ 実験データによる○○の改良 (H21.10～H22.3) ○ 研究成果とりまとめ (H22.3) 	<p style="text-align: center;">＜変更後の計画＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○のデザイン・作製 (H21.4～H21.11) ※2ヶ月遅延 ○ ○○及び○○による有効性の確認 (H21.12～H22.5) ○ 実験データによる○○の改良 (H21.12～H22.5) ○ 研究成果とりまとめ (H22.5) 	<p>(研究概要) ※2～3行程度 ○○の測定の技術を有する研究員を研究協力者として参画させ、平成21年9月までに○○をデザイン・作製し、平成21年10月より○○及び○○による有効性の確認を行い、得られたデータをもとに随時○○を改良していく予定であった。</p>
		事 由 (注)
		記号等 ①キ 計画に関する諸条件(研究協力者の確保難)
		(①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載) ※2～3行程度 平成21年9月、研究協力者の研究員が、他大学に就職することが急遽決定し、○○の測定の技術を有する代替者を確保する必要が生じたため、2ヶ月の遅延が生じた。
繰越事由の発生した時期 平成21年9月	補助事業の完了時期 平成22年5月31日:2ヶ月延長	

参考【記入例】
 ①キ 計画に関する諸条件
 (研究協力者の確保難)

繰越(翌債)を必要とする理由書

機関番号: 11111 研究機関名: ○○大学
 課題番号: 211111111 繰越(翌債)承認要求額: 1,300,000 円 (内訳:直接経費 1,000,000 円 ・間接経費 300,000 円)
 研究課題名: ○○の研究

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
<p style="text-align: center;">＜当初計画＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 予備調査 (H21.4～H21.5) ○ 学内倫理委員会の審査 (H21.6～H21.7) ○ 対象者の選定 (H21.8～H21.10) ○ 実験施行 (H21.11～H22.1) ○ データ解析 (H22.1～H22.3) ○ 研究成果とりまとめ (H22.3) 	<p style="text-align: center;">＜変更後の計画＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 予備調査 (H21.4～H21.5) ○ 学内倫理委員会の審査 (H21.6～H21.7) ○ 対象者の選定 (H21.8～H21.12) ※2ヶ月遅延 ○ 実験施行 (H22.1～H22.3) ○ データ解析 (H22.3～H22.5) ○ 研究成果とりまとめ (H22.5) 	<p>(研究概要) ※2～3行程度 平成21年8月から○○大学医学部○○講座との共同研究により、○○の疾患を持つ被験者を研究協力者として選定し、○○に関する研究データの集積と解析を行う予定であった。</p>
		事 由 (注)
		記号等 ①キ 計画に関する諸条件(研究協力者の確保難) ----- (①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載) ※2～3行程度 平成21年8月、候補者に精密検査を行った結果、当初の見込みよりも多くの候補者が条件に合致しないことが判明し、再度、被験者を選定し直す必要が生じたため、2ヶ月の遅延が生じた。
繰越事由の発生した時期 平成21年8月	補助事業の完了時期 平成22年5月31日:2ヶ月延長	

繰越(翌債)を必要とする理由書

機関番号: 11111

研究機関名: ○○大学

課題番号: 211111111

繰越(翌債)承認要求額: 1,300,000 円 (内訳:直接経費 1,000,000 円 ・間接経費 300,000 円)

研究課題名:○○の研究

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
<p><当初計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○装置の試作 (H21.4~H21.7) ○ 試作装置の性能評価 (H21.8~H21.11) ○ 実機とデータ処理回路の開発 (H21.12~H22.3) ○ 研究成果とりまとめ (H22.3) 	<p><変更後の計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○装置の試作 (H21.4~H21.7) ○ ○○装置の仕様再検討・改良 (H21.8~H21.9) ○ 試作装置の性能評価 (H21.10~H22.1) ○ 実機とデータ処理回路の開発 (H22.2~H22.5) ○ 研究成果とりまとめ (H22.5) 	<p>(研究概要) ※2~3 行程度 ○○ビームに耐えうる○○装置の試作を平成21年7月までに終え、8月より装置の性能評価を行い、実機とデータ処理回路の開発を行う予定であった。</p>
		事 由 (注)
		<p>記号等 ①キ 計画に関する諸条件 (装置の開発遅延)</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載) ※2~3 行程度 平成21年8月に試作装置の性能評価を行ったところ、当初の予測に反して○○に関するデータが十分に得られなかったため、仕様を再検討し、検出器内の○○部分を改良するために、2ヶ月の遅延が生じた。</p>
繰越事由の発生した時期 平成21年8月	補助事業の完了時期 平成22年5月31日:2ヶ月延長	

①キ 計画に関する諸条件
(機器の故障)

繰越(翌債)を必要とする理由書

機関番号: 11111

研究機関名: ○○大学

課題番号: 211111111

繰越(翌債)承認要求額: 1,300,000 円 (内訳: 直接経費 1,000,000 円 ・間接経費 300,000 円)

研究課題名: ○○の研究

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
<p><当初計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○実験の準備 (H21.4~H21.9) ○ 本実験 (H21.10~H22.2) ○ 研究成果とりまとめ (H22.3) 	<p><変更後の計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○実験の準備 (H21.4~H21.12) ※3ヶ月遅延 ○ 本実験 (H22.1~H22.5) ○ 研究成果とりまとめ (H22.6) 	<p>(研究概要) ※2~3 行程度 平成21年9月までに、○○マウスから取り出した○○抗体を○○装置にて解析する準備を終了し、10月より本実験を開始する予定であった。</p>
		事 由 (注)
		<p>記号等 ①キ 計画に関する諸条件(機器の故障)</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載) ※2~3 行程度 平成21年7月に、○○装置の○○の部分故障し、メーカーで修理を行ったため、○○実験の準備に3ヶ月の遅延が生じた。</p>
繰越事由の発生した時期 平成21年7月	補助事業の完了時期 平成22年6月30日: 3ヶ月延長	

参考【記入例】

①キ 計画に関する諸条件
(研究協力者の事情)

繰越(翌債)を必要とする理由書

機関番号: 11111

研究機関名: ○○大学

課題番号: 211111111

繰越(翌債)承認要求額: 1,300,000 円 (内訳:直接経費 1,000,000 円 ・間接経費 300,000 円)

研究課題名: ○○の研究

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
<p><当初計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○のデザイン・作製 (H21.4~H21.9) ○ 研究打ち合わせ並びに、○○及び○○による有効性の確認 (H21.10~H22.3) ○ 実験データによる○○の改良 (H21.10~H22.3) ○ 研究成果のとりまとめ (H22.3) 	<p><変更後の計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○のデザイン・作製 (H21.4~H21.9) ○ 研究打ち合わせ並びに○○及び○○による有効性の確認 (H21.12~H22.5) ※2ヶ月遅延 ○ 実験データによる○○の改良 (H21.12~H22.5) ○ 研究成果のとりまとめ (H22.5) 	<p>(研究概要) ※2~3 行程度 ○○のデザイン・作製の段階が終了した時点で、当初から共同研究を実施してきた米国○○大学の○○教授を研究代表者の研究室に招へいし、研究打ち合わせを行った上で、今後の研究方針を決定する予定であった。</p>
		事 由 (注)
		<p>記号等 ①キ 計画に関する諸条件(研究協力者の事情)</p> <p>----- (①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載) ※2~3 行程度 平成21年9月に○○教授の勤務地域で大規模な地震が発生し、研究環境復旧作業のために研究打ち合わせの並びに○○及び○○による有効性の確認の開始時期に、2ヶ月の遅延が生じた。</p>
<p>繰越事由の発生した時期 平成21年9月</p>	<p>補助事業の完了時期 平成22年5月31日:2ヶ月延長</p>	

参考【記入例】
 ①キ 計画に関する諸条件
 (研究協力機関の事情)

繰越(翌債)を必要とする理由書

機関番号: 11111 研究機関名: ○○大学
 課題番号: 211111111 繰越(翌債)承認要求額: 1,300,000 円 (内訳:直接経費 1,000,000 円 ・間接経費 300,000 円)
 研究課題名:○○の研究

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
<p style="text-align: center;"><当初計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○遺跡の調査・研究 (H21.5～H21.10) ○ ○○の都市史ワークショップ (H21.10) ○ ○○についてのシンポジウム (H21.11) ○ 研究成果とりまとめ (H22.3) 	<p style="text-align: center;"><変更後の計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○遺跡の調査・研究 (H21.12～H22.5) ※7ヶ月遅延 ○ ○○の都市史ワークショップ (H22.5) ○ ○○についてのシンポジウム (H22.6) ○ 研究成果とりまとめ (H22.10) 	<p>(研究概要) ※2～3 行程度 平成21年5月から平成21年10月まで、○○大学の協力を得て、○○遺跡の調査・研究を実施する予定であった。</p>
		事 由 (注)
		<p>記号等 ①キ 計画に関する諸条件 (研究協力機関の事情)</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載) ※2～3 行程度 平成21年5月、現地の研究協力機関である○○大学の都合により、現地調査を一時中断せざるをえなくなり、○○遺跡の調査・研究の開始に7ヶ月の遅延が生じた。</p>
繰越事由の発生した時期 平成21年5月	補助事業の完了時期 平成22年10月31日:7ヶ月延長	

繰越(翌債)を必要とする理由書

機関番号: 11111

研究機関名: ○○大学

課題番号: 211111111

繰越(翌債)承認要求額: 1,300,000 円 (内訳: 直接経費 1,000,000 円 ・間接経費 300,000 円)

研究課題名: ○○の研究

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
<p><当初計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○の事例調査・分析 (H21.4~H21.12) ○ ○○学会シンポジウム準備 (H21.11~H21.12) ○ 研究成果発表 (H22.2) ○ 研究成果とりまとめ (H22.3) 	<p><変更後の計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○の事例調査・分析 (H21.4~H21.12) ○ ○○学会シンポジウム準備 (H21.11~H21.12) ○ 研究成果発表 (H22.4) ※2ヶ月遅延 ○ 研究成果とりまとめ (H22.5) 	<p>(研究概要) ※2~3行程度 平成21年12月までに○○についての事例調査と○○に関する分析を終え、平成22年2月の下旬に開催される○○学会主催のシンポジウムにて成果発表ならびに意見交換を行い、研究成果をまとめる予定であった。</p>
		事 由 (注)
		<p>記号等 ①キ 計画に関する諸条件 (学会の事情)</p> <p>(①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載) ※2~3行程度 平成21年10月に、学会事務局の都合によりシンポジウム開催が延期されることとなり、研究成果の発表に2ヶ月の遅延が生じた。</p>
<p>繰越事由の発生した時期 平成21年10月</p>	<p>補助事業の完了時期 平成22年5月31日:2ヶ月延長</p>	

参考【記入例】
 ①キ 計画に関する諸条件
 (学会の事情)

繰越(翌債)を必要とする理由書

機関番号: 11111 研究機関名: ○○大学
 課題番号: 211111111 繰越(翌債)承認要求額: 1,300,000 円 (内訳: 直接経費 1,000,000 円 ・間接経費 300,000 円)
 研究課題名: ○○の研究

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
<p style="text-align: center;"><当初計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○のフィールドワーク (H21.5~H21.9) ○ 評価指標のツール化 (H21.10~H22.2) ○ 学会発表及び意見交換 (H22.2) ○ 研究成果とりまとめ (H22.3) 	<p style="text-align: center;"><変更後の計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○のフィールドワーク (H21.5~H21.9) ○ 評価指標のツール化 (H21.10~H22.2) ○ 学会発表及び意見交換 (H22.4) <li style="padding-left: 20px;">※2ヶ月遅延 ○ 研究成果とりまとめ (H22.5) 	<p>(研究概要) ※2~3 行程度 平成21年9月までに○○のフィールドワーク調査を終え、それに基づき評価指標のツール化を行い、平成22年2月に開催される米国○○学会の国際シンポジウムにて研究成果の発表及び意見交換を行い、研究成果をまとめる予定であった。</p>
		事 由 (注)
		<p>記号等 ①キ 計画に関する諸条件 (学会の事情)</p> <p>(①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載) ※2~3 行程度 平成21年12月に米国○○学会の都合によりシンポジウムが中止となり、代替として、平成22年4月に日本で開催される同規模の○○学会シンポジウムに参加することとなったため、学会発表及び意見交換に2ヶ月遅延が生じた。</p>
繰越事由の発生した時期 平成21年12月	補助事業の完了時期 平成22年5月31日:2ヶ月延長	

参考【記入例】

①キ 計画に関する諸条件
(怪我・病気)

繰越(翌債)を必要とする理由書

機関番号: 11111

研究機関名: ○○大学

課題番号: 211111111

繰越(翌債)承認要求額: 1,300,000 円 (内訳:直接経費 1,000,000 円 ・間接経費 300,000 円)

研究課題名: ○○の研究

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
<p><当初計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○の遺伝子単離 (H21.4~H21.8) ○ ○○の解析と○○の発現解析 (H21.9~H21.12) ○ ○○遺伝子の解析 (H22.1~H22.2) ○ 研究成果のとりまとめ (H22.3) 	<p><変更後の計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○の遺伝子単離 (H21.4~H21.10) ※2ヶ月遅延 ○ ○○の解析と○○の発現解析 (H21.11~H22.2) ○ ○○遺伝子の解析 (H22.3~H22.4) ○ 研究成果のとりまとめ (H22.5) 	<p>(研究概要) ※2~3 行程度 平成21年8月までに○○の遺伝子単離を終え、○○の解析と○○の発現解析、○○遺伝子の解析を順次行う予定であった。</p>
		事 由 (注)
		<p>記号等 ①キ計画に関する諸条件 (怪我・病気)</p> <p>----- (①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載) ※2~3 行程度 8月に研究代表者が体調を崩して入院していたため、○○の遺伝子単離に2ヶ月の遅延が生じた。</p>
<p>繰越事由の発生した時期 平成21年8月</p>	<p>補助事業の完了時期 平成22年5月31日:2ヶ月延長</p>	

参考【記入例】

①キ 計画に関する諸条件
(怪我・病気)

繰越(翌債)を必要とする理由書

機関番号: 11111

研究機関名: ○○大学

課題番号: 211111111 繰越(翌債)承認要求額: 1,300,000 円 (内訳: 直接経費 1,000,000 円 ・ 間接経費 300,000 円)

研究課題名: ○○の研究

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
<p><当初計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ペプチドの○○解析 (H21.4~H22.3) ○ ○○の触媒の開発 (H21.4~H22.3) ○ ○○の合成、機能研究 (H21.4~H22.3) ○ 研究成果のとりまとめ (H22.3) 	<p><変更後の計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ペプチドの○○解析 (H21.4~H22.3) ○ ○○の触媒の開発 (H21.4~H22.5) ※2ヶ月遅延 ○ ○○の合成、機能研究 (H21.4~H22.3) ○ 研究成果のとりまとめ (H22.5) 	<p>(研究概要) ※2~3 行程度 平成21年4月から、「ペプチドの○○解析」、「○○の触媒の開発」、「○○の合成、機能研究」を研究代表者、研究分担者2名がそれぞれ担当し、○○の機能の探索・開発を行う予定であった。</p>
		<p>事 由 (注)</p>
		<p>記号等 ①キ計画に関する諸条件 (怪我・病気)</p>
		<p>(①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載) ※2~3 行程度 平成22年2月に「○○の触媒の開発」を担当していた研究分担者が怪我で入院し、退院して研究を再開できるのが4月となったため、2ヶ月の遅延が生じた。</p>
<p>繰越事由の発生した時期 平成22年1月</p>	<p>補助事業の完了時期 平成22年5月31日: 2ヶ月延長</p>	

参考【記入例】
 ⑥ウ 資料の入手難
 (マウス等実験動物の確保難)

繰越(翌債)を必要とする理由書

機関番号: 11111 研究機関名: ○○大学
 課題番号: 211111111 繰越(翌債)承認要求額: 1,300,000 円 (内訳:直接経費 1,000,000 円 ・間接経費 300,000 円)
 研究課題名:○○の研究

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
<p style="text-align: center;">＜当初計画＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○マウスの確保 (H21.4～H21.9) ○ 実験準備 (H21.10～H21.11) ○ ○○細胞の移動経路の解明 (H21.12～H22.3) ○ 研究成果とりまとめ (H22.3) 	<p style="text-align: center;">＜変更後の計画＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○マウスの確保 (H21.4～H21.12) ※3ヶ月遅延 ○ 実験準備 (H22.1～H22.2) ○ ○○細胞の移動経路の解明 (H22.3～H22.6) ○ 研究成果とりまとめ (H22.6) 	<p>(研究概要) ※2～3 行程度 ○○実験に必要となる○○マウスの作製・発送を米国○○大学○○センターに依頼し、平成21年9月までに○○マウスを確保して実験を進める予定であった。</p>
		事 由 (注)
		記号等 ⑥ウ 資材の入手難 (マウス等実験動物の確保難) ----- (①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載) ※2～3 行程度 平成21年8月、米国○○大学での○○マウスの発育が予定通り進まなかったため、○○マウスの納品時期に3ヶ月の遅延が生じた。
繰越事由の発生した時期 平成21年8月	補助事業の完了時期 平成22年6月30日:3ヶ月延長	

繰越（翌債）を必要とする理由書

参考【記入例】

⑥ウ 資料の入手難

（マウス等実験動物の確保難）

機関番号： 11111

研究機関名： ○○大学

課題番号： 211111111

繰越(翌債)承認要求額： 1,300,000 円 （内訳：直接経費 1,000,000 円 ・間接経費 300,000 円）

研究課題名：○○の研究

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
<p><当初計画></p> <p>○ ○○マウスの作製 （H21.4～H21.9）</p> <p>○ ○○マウスの解析 （H21.10～H22.3）</p> <p>○ 研究成果とりまとめ （H22.3）</p>	<p><変更後の計画></p> <p>○ ○○マウスの作製 （H21.4～H22.2） ※5ヶ月遅延</p> <p>○ ○○マウスの解析 （H22.3～H22.8）</p> <p>○ 研究成果とりまとめ （H22.8）</p>	<p>（研究概要） ※2～3 行程度</p> <p>平成21年9月までに○○の遺伝子を持つ○○マウスを作製し、平成21年10月より○○細胞の○○の発生箇所を特定する予定であった。</p>
		<p>事 由（注）</p>
		<p>記号等 ⑥ウ 資材の入手難（マウス等実験動物の確保難）</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>（①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載） ※2～3 行程度</p> <p>平成21年8月に、学内の遺伝子仕組み替え実験施設において感染事故が発生し、実験施設をクリーン化するために、マウスの作製に5ヶ月の遅延が生じた。</p>
<p>繰越事由の発生した時期</p> <p>平成21年8月</p>	<p>補助事業の完了時期</p> <p>平成22年8月31日：5ヶ月延長</p>	

参考【記入例】

⑥ウ 資料の入手難

(資材及び資料の入手難)

繰越(翌債)を必要とする理由書

機関番号: 11111

研究機関名: ○○大学

課題番号: 211111111 繰越(翌債)承認要求額: 1,300,000 円 (内訳:直接経費 1,000,000 円 ・間接経費 300,000 円)

研究課題名: ○○の研究

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
<p><当初計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○の光源及び検出器の開発 (H21.4~H21.9) ○ ○○の評価実験 (H21.10~H22.3) ○ 研究成果とりまとめ (H22.3) 	<p><変更後の計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○の光源及び検出器の開発 (H21.4~H21.11) ※2ヶ月遅延 ○ ○○の評価実験 (H21.12~H22.5) ○ 研究成果とりまとめ (H22.5) 	<p>(研究概要) ※2~3 行程度 平成21年9月までに○○装置の○○の光源及び検出器の開発を終え、平成21年12月より○○の評価実験を行う予定だった。</p>
		事 由 (注)
		<p>記号等 ⑥ウ 資材の入手難(資材及び資料の入手難)</p> <p>(①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載) ※2~3 行程度 平成21年8月、検出器の開発に必要な○○解析ソフトウェアについて、製造元において製品上の問題が判明したため、納品時期に2ヶ月の遅延が生じた。</p>
<p>繰越事由の発生した時期 平成21年8月</p>	<p>補助事業の完了時期 平成22年5月31日:2ヶ月延長</p>	

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 11111

研究機関名： ○○大学

課題番号： 211111111

繰越(翌債)承認要求額： 1,300,000 円 （内訳：直接経費 1,000,000 円 ・間接経費 300,000 円）

研究課題名：○○の研究

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
<p>＜当初計画＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○の調査の事前準備 (H21.4～H21.7) ○ ○○での現地調査 (H21.8～H21.11) ○ 調査結果の検討 (H21.12～H22.1) ○ 研究成果とりまとめ (H22.2～H22.3) 	<p>＜変更後の計画＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○の調査の事前準備 (H21.4～H21.10) ※3ヶ月遅延 ○ ○○での現地調査 (H21.11～H22.2) ○ 調査結果の検討 (H22.3～H22.4) ○ 研究成果とりまとめ (H22.5～H22.6) 	<p>(研究概要) ※2～3 行程度 平成21年7月までに○○の調査の事前準備を行い、平成21年8月から○○地域での現地調査として、住民へのヒアリング等を行い、近代化の加速に伴う生活習慣・健康状態の変化を分析する予定であった。</p>
		事 由 (注)
		<p>記号等 ⑦ア 研究に際しての事前調査</p> <p>-----</p> <p>(①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載) ※2～3 行程度 ※⑦アの場合は記入不要</p>
繰越事由の発生した時期 平成21年8月	補助事業の完了時期 平成22年6月30日：3ヶ月延長	

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 11111

研究機関名： ○○大学

課題番号： 211111111

繰越(翌債)承認要求額： 1,300,000 円 （内訳：直接経費 1,000,000 円 ・間接経費 300,000 円）

研究課題名：○○の研究

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
<p>＜当初計画＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○のマウスの作製 (H21.4～H21.7) ○ ○○マウスの表現型解析 (H21.8～H22.3) ○ 研究成果のとりまとめ (H22.3) 	<p>＜変更後の計画＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○のマウスの作製 (H21.4～H21.7) ○ ○○マウスの表現型解析 (H21.8～H22.5) ※2ヶ月遅延 ○ 研究成果のとりまとめ (H22.5) 	<p>(研究概要) ※2～3 行程度 ○○の変異遺伝子を持つ○○のマウスを作製し、○○の手法により、マウスの表現型解析を進める予定であった。</p>
		事 由 (注)
		<p>記号等 ⑦イ 研究方式の決定の困難</p> <p>(①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載) ※2～3 行程度</p> <p>※⑦イの場合は記入不要</p>
<p>繰越事由の発生した時期 平成21年8月</p>	<p>補助事業の完了時期 平成22年5月31日：2ヶ月延長</p>	

参考【記入例】
③ア 気象の関係(豪雨)

繰越(翌債)を必要とする理由書

機関番号: 11111 研究機関名: ○○大学
 課題番号: 211111111 繰越(翌債)承認要求額: 1,300,000 円 (内訳:直接経費 1,000,000 円 ・間接経費 300,000 円)
 研究課題名:○○の研究

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
<p style="text-align: center;">＜当初計画＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○の創製 (H21.4～H21.10) ○ ○○の解析 (H21.11～H22.3) ○ 研究成果のとりまとめ (H22.3) 	<p style="text-align: center;">＜変更後の計画＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○○の創製 (H21.4～H21.10) ○ ○○の解析 (H22.1～H22.5) ※2ヶ月遅延 ○ 研究成果のとりまとめ (H22.5) 	<p>(研究概要) ※2～3 行程度 ○○の粒子創製を行った後、平成21年11月から○○の解析を行うために、○○実験施設を有する○○大学○○研究所において、○○の実験を行う予定であった。</p>
		事 由 (注)
		記号等 ③ア 気象の関係(豪雨)
		(①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載) ※2～3 行程度 ※③アの場合は記入不要
繰越事由の発生した時期 平成22年10月	補助事業の完了時期 平成22年5月31日:2ヶ月延長	

参考：事由別一覧表

繰越事由（記号等）	該当する事例
①エ 計画に関する諸条件 （計画の変更）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究途中に当初予定していた結果を得られないことが判明し、研究内容・方法を見直す必要が生じた場合 ・ 専門家からの指摘や他に参考とすべき資料の発見により研究方法の見直しが必要となった場合 ・ 現在の社会情勢を考慮し、研究内容の再検討する必要が生じた場合
①キ 計画に関する諸条件 （・・・・・・・・） ※右欄を参照	<p>（新たな知見の発見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究目的を達成するにあたり、新たな知見を優先して詳細に調べる必要が生じた場合 ・ 研究目的を達成するにあたり、他の研究グループが国内外で発表した新たな知見を検討する必要が生じた場合
	<p>（研究協力者の確保難）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地災害の影響により研究協力者の渡航が困難となり、調査日程を再調整する必要が生じた場合 ・ 研究協力者の都合により、研究計画の参加が困難となり、代替者の確保等のため研究計画に遅延が生じた場合 ・ データ収集に協力いただく協力者が体調不良により予定していたデータ収集の確保が困難になり、データ解析に遅延が生じた場合
	<p>（研究協力機関の事情）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 急激な社会情勢（経済・治安）の悪化により研究機関の協力が当初の予定通り得ることができず、再度、日程調整を行う必要が生じた場合 ・ 共同研究を行う予定が、研究協力機関の都合により急遽延期となり、共同研究の実施に遅延が生じた場合
	<p>（装置の開発遅延）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業者からの資材の納品遅延により、当初の装置開発に遅延が生じた場合 ・ 装置開発段階で想定外の不具合が発生し、計画を見直す必要が生じた場合
	<p>（機器の故障）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究協力機関に設置されている使用予定の機器が故障し、実験着手に遅延が生じた場合
	<p>（その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用情勢の悪化により、研究対象となる研究協力者の確保が困難となり、調査の着手に遅延が生じた場合 ・ 国内外の学会の開催が、主催者等の都合により延期となり、研究成果の取りまとめに遅延が生じた場合

繰越事由（記号等）	該当する事例
⑥ウ 資材の入手難 (・・・・・・・・) ※右欄を参照	(マウス等実験動物の確保難) <ul style="list-style-type: none"> ・実験に使用するマウスの繁殖・作成が予定通り進まなかったために、実験着手に遅延が生じた場合 ・遺伝子改変マウスが想定外の感染事故により使用できなくなり、当初計画に遅延が生じた場合 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> (資材・試料・資料の入手難) <ul style="list-style-type: none"> ・資料提供先の都合により、遺伝子解析に必要な実験動植物の入手が困難となり、実験着手に遅延が生じた場合 ・原因不明の病気や環境の急変により、実験に使用する植物の入手が困難となり、計画に遅延が生じた場合
⑦ア 研究に際しての 事前調査の困難	<ul style="list-style-type: none"> ・事前調査の結果を踏まえ、再度研究計画を見直す必要が生じた場合 ・事前調査に当初の予定以上に時間を要し、研究計画に遅延が生じた場合
⑦イ 研究方式の決定の 困難	<ul style="list-style-type: none"> ・経過観察等に当初の予定よりも多くの時間を要し、研究方法の決定に遅延が生じた場合 ・研究対象の範囲を広げ、再検討を行う必要が生じた場合
③ア 気象の関係 (豪雨)	<ul style="list-style-type: none"> ・豪雨または小雨の影響で、観測実験が行えなかった場合 ・豪雨の影響で、調査対象地が災害にあった場合
③イ 気象の関係 (豪雪)	<ul style="list-style-type: none"> ・豪雪の影響で、雪崩が頻発し安全性の確保が困難な場合 ・豪雪の影響で、観測地域への立ち入りが困難な場合
③ウ 気象の関係 (風浪)	<ul style="list-style-type: none"> ・風浪の影響で、調査海域の安全性の確保が困難な場合 ・風浪の影響で、調査海域が悪天候となり限定された船舶しか現地へ行けず、その船舶の使用が困難な場合
③エ 気象の関係 (その他)	<ul style="list-style-type: none"> ・日照時間の減少の影響で、植物が生長しなかった場合 ・台風の影響で現地調査が困難な場合 ・落雷による火災で現地調査が困難な場合 ・大規模な地震により現地の施設の使用が困難な場合 ・黄砂飛散量の増減が影響した場合